



# 子孫から信頼される町づくり

## 羽幌町長 駒井 久晃

新年明けましておめでとうございます。輝かしい平成30年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。また、町民の皆様には、平素より町行政に対し、深いご理解と温かいご支援・ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、平成29年を振り返りますと、民設民営方式での「認知症対応型グループホーム」が3月に開設したのをはじめとして、6次産業化の取組で初めてとなる「甘エビ漁師の直営店」が4月にオープン、新たな地域間交流の事業として「7月に行われた神奈川県海老名市でのイベント参加」、長年の懸案事項でありました「羽幌小学校の新校舎が11月に完成」、初めての試みとして行った「シングルペアレント移住雇用マッチング事業」での成果、また、環境面

では「ウミガラスの飛来数やケイマフリの増加」、さらに基幹産業であります農業では、低タンパクでおいしい「羽幌産米が4年連続全量1等米」となり、漁業にあつては、ホタテ漁などの好調にも支えられ「北るもい漁協が合併以来最高の水揚高を記録」、焼尻島では11年振りとなる「新造船が建造」され、さらに、10月の衆議院議員総選挙では、本町が関係する北海道第十区から3人の方が当選されるなど、明るい話題が多い年であったと感じております。

しかしながら、昭和43年4月より開園しておりました羽幌保育園については、園児数の状況や園舎の老朽化などの問題から、平成29年3月、49年の歴史をもって閉園したところであり、寂しい話題もあつたところであります。

また、昨年は、開基120年の節目を迎えた年でありました。明治30年7月に戸長役場が開庁され、過酷な自然環境の中で幾多の困難に立ち向かいながら、本町は発展してきたものでありますが、このことは、私たちの祖先をはじめ、諸先輩皆様方が並々ならぬご苦労とご努力で築き上げられた礎により、基幹産業としての漁業及び農業が確固たるものとなったからであります。

ここに深く敬意と感謝を申し上げます。これからも、このまちが「元気なほろ」として発展していけるよう、現状の把握と将来の見通しを行い、計画性のある行政運営に取り組んでまいりたいと考えております。

さて、今年が町長に就任し、1期目の最後の年となります。今後、地方においては依然として厳しい状況は続いており、本町に

あつても、公共施設マネジメントに基づく施設の建替え、産業廃棄物処分場の整備、空き家対策をはじめとした住宅等の問題など様々な課題は山積しておりますが、本年が新たな飛躍と発展の年になるよう全力を傾け、明るい話題を一つでも多く発信し、そして町民の皆様にとって、「住んで良かった」は勿論のこと、さらには「住みたくなる」羽幌となるよう、より一層努めてまいりたいと考えておりますので、町民の皆様には、更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様には、今年一年健康には十分に留意していただき、本年が皆様にとって良き年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 議会改革を進め期待される議会へ

## 羽幌町議会議長 森 淳

新年明けましておめでとうございます。皆様には、平成30年の輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より議会活動に対し温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年を顧みますと、7月の九州北部豪雨により甚大な被害が発生し、改めて自然の猛威を痛感しておりますが、度重なる北朝鮮のミサイル発射など、現在も緊迫する国際情勢にも危惧の念を抱いています。

本町においては、基幹産業の農業で、羽幌産米が4年連続全量1等米や低タンパク米の高出荷率となり、漁業では、ホタテ漁など好調に支えられ、北るもい漁協が合併以来最高の水揚高となるなど、大変喜ばしい業績となりました。本年も町経済の牽引役として、大きな期待をしてお

ります。

49年の長きにわたり、児童福祉施設の要として役割を担ってきた羽幌保育園が、3月でその歴史に幕を閉じましたが、一方、懸案の羽幌小学校新校舎が11月に完成となりました。快適な環境の下、子どもたちが安心して学業・スポーツに勤しめる学び舎となるよう念願しております。

また、昨年は町開基120周年となり、人口減少のなか未来へ繋がる節目の年にもなりました。

重要課題の医療体制の充実では、4月から道立羽幌病院において総合診療医による体制の整備が実現しましたが、整形外科をはじめ常勤専門医の配置など解決すべき課題もあります。本年も引き続き要請活動を行い、安心できる地域医療体制の確立を目指してまいります。

地方議員のなり手不足問題など、全国的な話題となっているものもあ

りますが、本町の山積する諸課題につきましても、継続して議論を進めてまいります。

議会機能の拡充や議会活性化が求められているなか、当町議会では、昨年3月に「議会・行政改革特別委員会（議員全員）」を組織し、「議会機能の強化」「広報・広聴」「議会基本条例」の三つのテーマを3分科会に分担し、検討を重ねております。テーマ毎の調査・検討事項については、分科会がたたき台を作成し、全体会議（特別委員会）での議論・検討を経て最終結論を見出すとした手法を取り入れ、併せて、道内先進議会の視察研修、外部講師を招いた議員研修会も実施するなど研鑽にも励んでおります。

特別委員会では、本年4月から、これまで本会議のみであった「町ホームページ上での議事録の公開」を、新たに「常任・特別委員会」も追加し、ま

た、一般質問の「再質問時間の延長」なども決定しました。これに先立ち、昨年12月には、住民の皆様の声を反映すべく「子育て世代と羽幌町議会との意見交換会」を開催しております。その他改革内容につきましては、決定されたものから順次実施したいと考えており、引き続き本年も議会改革を進め、期待される議会となるよう議員一同努力してまいります。

さて、議員任期も残り1年3箇月余りとなりました。医療問題ははじめ、数多くの懸案事項など取り組むべき課題も山積しておりますが、皆様の声を真摯に受け止め、未来に繋がる郷土発展のため、心新たに日々研鑽・努力してまいります。

新たな年が、皆様にとって喜びと幸せに満ちた一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。